

# 11月5日～7日から教育キャラバンを実施

# 県内の教育委員会と懇談

**坂出市教委**・・・35人学級の必要性は当然のこと。なかなか財務との議論は平行線だが、これからもお願いしていきたい。

**多度津町教委**・・全国の教育長協議会などでも要望をしていく。

**東かがわ市教委**・・小4まで2クラスで、小5になつたときに1クラスに戻すことは酷だ。2校を統廃合した場合、教職員は、減つているはずだから財政的な浮きがでた場合、教職員の配置をお願いしたい。

どの教育委員会も、少しでも少ない児童生徒数で先生方が指導できるように心がけてくれて

エアコン設置率、全国一位東京都99.9% 二位香川県81.0% 三位 神奈川県73.3% 四位 京都府68.1%	
高松市教委：3中学校に土曜活用の研究指定校をお願いして2年間の検証作業をしている。あくまで学習であり、授業としては実施していない。学力は定着してきているが、地域人材の活用はもう一步。月2回の希望参加率は、25%程度。	丸亀市教委：市としては土曜授業、夏休み短縮はやる予定はない。多忙な教職員が土曜日

県は、小3、小4の35人学級の加配措置をしてくれていますが、多くの市町で、県からの少人数指導加配を利用して、独自に少人数学級を実施していることが分かりました。

**県教育委員会**は、土曜授業は、教員の育成課程内としては扱わないこととしている。小中のエアコン設置は、地域の人材活用をお願いしている。小中と並んでトップレベルになつてゐる。

## 香川の教育をよりよくする会が実施

香川県内17市町（8市9町）のうち12市町（8市4町）と県教育委員会に要請訪問を行い、各教育委員会と30分から1時間の話し合いの時間を持つことができました。

大半の自治体で教育長に対応していただき、自治体が抱えている問題や教育について、どのように考えているかについて聞くことができました。

発行所  
高松市田村町1033-3  
TEL (087) 867-4797  
FAX (087) 867-6446  
香川県教職員組合  
定価 1部50円 1月100円  
組合員の購読料は組合費に含みます。

<http://kakyoso.com>

香教組 第308回  
中央委員会  
日時 12月20日(土)  
10時～12時30分  
場所 香教組会館  
※ 中央委員会終了後、昼食会を行います。参加確認をお願いします。

くい。2013年度に保護者・教職員にアンケートを実施した現在、児童の9割近くが土曜にはスポーツ等に加入して活動している。

**坂出市教委**：教員が土曜授業を実施することはせず、外部人材を活用している。教育哲学を持つて対応することが重要と考えている。

第3土曜に授業を年8回実施（7・12・3月を除く）。復習的な補習授業をしている。児童生徒の参加は9割程度。

さぬき市教委：文科省の研究指定で、希望者のみの土曜授業を実施。ボランティアによる体験学習をしている。夏休みであれば代休措置もなく、教職員の勤務時間内にゆとりを持つてできると考えている。

いくつかの町教育委員会にお邪魔した▼  
香川は、平成の大合併の中で町の合併がすすみ町教育委員会が残っているところは、わずかになつた▼小生は、自分が教員生活の大部分を高松市で過ごしたこともあり、教育委員会が各学校の現状を細かく話をする等という経験があまりない▼今回、キヤラバノで回つたよ

# 40人学級への逆戻りは許さない! 財務省前で緊急行動を実施

11月13日、全教・教組共闘連絡会は、40入学級への後退を許さず、少人数学級の前進を求める財務省前緊急行動をおこないました。

あいさつに立った北村佳久全教委員長・教組共闘代表幹事は、財務省が40入学級に逆戻りさせようとしている背景には、軍事費や大企業減税を優先する安倍政権の姿勢があると指摘



枕を優先する安堵政権の姿勢がめざと指摘されました。

また坂本次男全教教財部長は、1機100億円もするオスプレイの購入計画をやめるだけで、高校まで35人学級を実現できるとし、教育予算の拡充を求めました。

香川から参加した香教組井上書記長は、11月上旬に行った香川県自治体キャラバンでの懇談を通して、各自治体も頑張って、子どもたちのために「ゆきとどいた教育」をすすめようと努力していることを紹介。自治体まかせにせず国の責任で、少人数学級をはじめとした教育条件整備をするよう訴えました。

## 教育委員会の本当の姿

「この教育委員会は本当に学校の施設一つひとつにまで目を向けてくれていて丁寧だなあ」と感じる▼大きな市の教育委員会になると、ある程度のお金があり、給付制奨学金なども用意できるような良い点もあるが、「学校の○○が傷んでいるので、優先して修理しよう」というような言葉はでるのだろうか▼「合併で統廃合して効率化を」と望む自治体の話を聞くことが多い昨今、久しぶりに田舎の教委の努力に触れた気がした。

# 日比谷野音で中央集会が開催される

## 衆議院解散風が一気に吹き荒れる



教員給与も、2014年こそ少し改善されたものの、2015年からは俸給表が2%程度下げられる方向で話が進んでいます。

4月から消費税が8%になり、私たち庶民の生活は、以前に比べて、明らかに苦しくなっています。

教員給与も、2014年こそ少し改善されたものの、2015年からは俸給表が2%程度下げられる方向で話が進んでいます。

### 消費税8%でも、結局、福祉にお金は回らなかつた

#### 食費や生活費を切り詰めて

各家庭では、給与が上がりない中、食費や生活費を節約する努力を余儀なくされています。安倍首相は「アベノミクスの効果が地方に波及していない」などと言っていますが、儲かったのはあくまで一部の大企業だけで、私たち一般庶民への恩恵は全くない状態です。

安倍首相は、8%に消費税を上げるのは、福祉に税金を回すためと主張しました。

しかし、この間、医療改悪や年金改悪、介護保険制度の改悪など、社会保障は、充実させるどころか相次いで改悪されてしましました。

では、消費税は何に使われてしまつたのでしょうか。すでに消費税導入以降、国民が支払った消費税額の累計は約百四十八

驚いたことに、中央行動の後、少人数学級について国會議員への要請に行くと、すでに国會議員が地元へ帰り始めており、ほとんどの国會議員が衆議院会館にいない状態になつていました。そういうわけで、議員要請すらできませんでした。

11月13日(木)安倍「暴走」政治にストップを!の中央決起集会が日比谷野音で開催されました。11月の初めには全く解散の動きもなかつた永田町でしたが、突然解散へのムードが高まっています。



### 「教育再生」の中での多忙化

教育分野でも、安倍首相が登場して以降、「教育再生」の名の下で少人数学級はストップ。英語の授業は小学校から。道徳は教科にするなど、矢継ぎ早の教育改革が次々と提案され、父母や子どもたちの願いとは全く異なる方向へと教育が向かい始めています。

## 全教青年部中四九ブロックへ

### あなたも参加しませんか

全教中四九ブロック青年教職員学習交流集会が、山口県で開催されます。青年部のみなさん湯田温泉で学びませんか?

日時 11月29日・30日(土、日)

29日は14:00から 30日は12:00まで

場所 山口市・湯田温泉「喜良久」

内容 <1日目>

全体講演 山縣 明人先生(岩国短期大学)

夜 郷土料理と地酒

<2日目>

充実の講座

- ・部活動について語ろう
- ・平和とは何か
- ・「ういろう」をつくろう など

## 年齢で差別しない採用試験を

香川県は、小学校の教員採用試験を受験できる年齢は40歳までです。(中学校は特別選考で50歳まで)

なぜ、校種によって年齢制限の差があるのでしょう。

総務省が出している通知には、臨時の任用で人を雇う場合でも「年齢や性別で任用を差別してはならない」としています。しかし、香川県の場合、一般企業に勤めている人が小学校教員になりたいと思っても40歳までしか受験できません。中学校は50歳まで受験可能です。

それでは、どの程度の県で年齢制限がないのでしょうか。

<年齢制限が完全に撤廃されている県>

山形、宮城、埼玉、神奈川、長野、静岡、新潟、富山、福井、愛知、岐阜、三重、和歌山(13県)

上記の県以外でも50歳まで受験可能としている県もあります。香川県も憲法で保障されているように、誰でも何歳でも採用試験は受験できるようにすべきです。採用するかどうかを決めるのは教育委員会なのですから。

と比べると、授業以外の拘束時間が非常に長く、長時間働いていることが明らかになつています。

私たち教職員は、ゆきどい間が非常に長く、長時間働いていた教育を進めるために、どの政党に一票を投じるかをよく考えて行動する必要があります。